

目黒区のご紹介



(和館)

1 旧前田家本邸

関東大震災復興計画に関連して、旧加賀藩主の系譜をひく前田家の本邸として、本郷区(現在の文京区)本郷から移転してきました。

この建物は、大正末期から昭和初期に建てられた大邸宅建築を代表する建物です。機能性を重視し、調理室から食堂に料理を運ぶリフトの設置など当時の最新技術を駆使しています。また洋館と和館をつなぐ渡り廊下には、洋風から和風へと切り替えるための意匠の工夫が見られます。洋館の一階と和館を迎賓・社交の場として、洋館の二階を生活の場として使用していたことも特徴です。



2 めぐる区民キャンパス

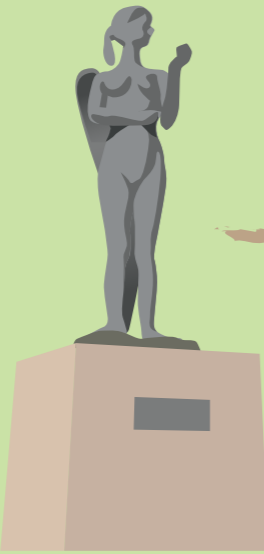
柿の木坂地区の丘に広がる都立大学跡地に、めぐる区民キャンパスがあります。

ホールや図書館、体育館などのある複合施設です。キャンパス内にある「めぐるパーシモンホール」は、都内としてはめずらしく、正面に光るガラス張りの建物で、豊かな光と緑に包まれたホールです。



3 カトリック碑文谷教会(目黒サレジオ教会)

サレジオ修道会が1954(昭和29年)年に建設したロマネスク様式(中世ヨーロッパの建築様式)のカトリック教会です。



4 目黒川桜並木

目黒川の桜並木は都内でも有数の花見のスポットですが、晩秋から初冬にかけては桜並木の紅葉が見ごろとなります。

目黒区では平成26年3月に目黒の桜基金を設立し、皆様からいただいたご寄付を活用して目黒の桜の風景を後世に伝えていくため、「めぐる桜再生プロジェクト」として目黒の桜保全事業を行っています。



5 大鳥神社

大同元年(だいてうがんねん)(806年)創建と伝えられ、目黒区内で最も古い神社です。

主祭神を日本武尊(ヤマトタケルノミコト)とし、国常立尊(クニトコタチノミコト)と弟橘媛命(オトタチバナノヒメノミコト)を合祀しています。

毎年9月の例大祭には太々神楽(だいだいかぐら)「剣の舞(つるぎのまい)」が、11月の酉の市には太々神楽(だいだいかぐら)「熊手の舞(くまでのまい)」が、神前で舞われます。



6 目黒寄生虫館

目黒寄生虫館は、医学博士 亀谷了(1909-2002)が私財を投じて1953(昭和28年)年に創設した寄生虫学専門の私立博物館です。

館内には国内外から集められた約300点の標本及び関連資料を展示しています。

ミュージアムショップもあり、オリジナルの寄生虫Tシャツや寄生虫封入ストラップなどを販売しています。

世界的にも珍しい寄生虫を扱う博物館として、老若男女が訪れる人気の施設です。

1年の歩み [令和3年度]



1 複合施設「こぶしえん」



2 新型コロナウイルスワクチン接種会場



3 めぐる電子図書館



4 めぐる区報リニューアル



5 「目黒のさんま」新作落語コンテスト



6 「成人の日のつどい」の開催



7 8 東京2020
オリンピック・パラリンピック
聖火リレートーチ

目黒区内の主な出来事

- ・第1回定例会で「ロシアによるウクライナ侵略に抗議する決議」を可決
- ・住民税非課税世帯等を対象とする臨時特別給付金支給
- ・令和2・3年度に成人となる方を対象とした「成人の日のつどい」の開催 6
- ・18歳以下のお子さんを対象とする子育て世帯への臨時特別給付金支給
- ・新型コロナウイルスワクチン追加接種(3回目接種)開始
- ・スマートフォン決済アプリでの区税・国民健康保険料の納付開始
- ・目黒シティラン
- ・オンラインハーフマラソン開催
- ・新たな目黒区民センターの基本構想策定
- ・目黒区民まつり中止
- ・「目黒のさんま」新作落語コンテスト開催 5
- ・目黒区民まつり中止
- ・特別養護老人ホーム「さんま」目黒開設
- ・めぐる区報リニューアル 4
- ・特別養護老人ホーム「さんま」目黒開設
- ・めぐる区報リニューアル 4
- ・国と都の給付対象外となった乳幼児世帯に10万円分の区内共通商品券配付
- ・電子書籍貸出サービス
- ・「めぐる電子図書館」開始 3
- ・東京2020オリンピックパラリンピック競技大会の幼・小・中の観戦事業中止
- ・区の集団接種会場で新型コロナウイルスワクチン接種開始 2
- ・18歳以下のお子さんを対象とする子育て世帯生活支援特別給付金支給
- ・医療従事者と地元飲食店を支援する「心にこぼれプロジェクト」実施
- ・特別養護老人ホーム・障害者支援施設などの複合施設「こぶしえん」開設 1

2021 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 2022 1月 2月 3月

国内外の主な出来事

- ・北京冬季オリンピック競技大会開催
- ・ロシア軍によるウクライナ侵略
- ・北京冬季オリンピック競技大会開催
- ・ロシア軍によるウクライナ侵略
- ・新型コロナウイルスオミクロン株の国内感染確認
- ・政府が外国人入国全面停止の臨時措置
- ・岸田文雄内閣発足
- ・任期満了に伴う衆議院議員選挙
- ・デジタル庁発足
- ・東京2020パラリンピック競技大会開催 8
- ・東京2020オリンピック競技大会開催 7
- ・4度目の緊急事態宣言(7/12〜9/30)
- ・任期満了に伴う都議会議員選挙
- ・新型コロナウイルスワクチン職域接種開始
- ・イギリスで主要7か国首脳会議(G7サミット)開催
- ・3度目の緊急事態宣言(4/25〜6/20)



目黒区の紋章

目黒区の紋章は、昭和7年10月1日の市郡合併により荏原郡目黒町と碑衾町が合併して、東京市目黒区が誕生した際、区の名称に目黒の文字を使用したため、それまで使われてきた目黒町の紋章をそのまま引き継ぎ、目黒区の紋章として慣行的に使用してきました。

この紋章は目黒町がまだ目黒村だった大正8年ごろ、目黒村役場の関係者によってつくられたものです。その形は目黒村の「目」の字を図案化したものだといわれています。

六角形の意味については定説もなく、記録が残っていないので明らかではありません。目黒区誕生45周年を迎えた昭和52年に、私たちの目黒区を象徴するものとして、規格を新たに定めて制度化しました。



目黒区の旗

目黒区の紋章と同じように、その経緯や由来は明らかではありません。

紫地の中央に紋章を白く染め抜いたものを目黒区の旗として慣行的に使用してきましたが、目黒区誕生45周年を迎えた昭和52年に、私たちの目黒区を象徴するものとして、目黒区の旗を地色に江戸紫、紋章は白など、規格を新たに定めて制度化しました。

目黒区の友好都市

国外

中華人民共和国北京市東城区 平成23年9月1日協定締結

旧崇文区とは平成3年10月26日に協定締結

大韓民国ソウル特別市中浪区 令和元年7月26日協定締結

国内

宮城県角田市 平成20年5月31日協定締結

宮城県気仙沼市 平成22年9月18日協定締結

石川県金沢市 平成29年10月28日協定締結